

G1-2025-

# 一般論文

## 試験問題

### 注意事項

1. 解答時間は**1時間**です。
2. 答案用紙の記入について
  - (ア) 答案用紙は1枚(両面)です。
  - (イ) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
  - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
  - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

我が国では、世界で類を見ないほどのスピードで高齢化が進んでおり、今後、高齢者の割合がこれまで以上に大きくなっていく社会を前提とした取組が求められている。こうした中、高齢者の運転免許証の自主返納を支援する施策や公共交通機関の縮小・廃止などが進み、地域における高齢者の移動手段の確保が求められている。

このような状況に関して、必要に応じて以下の資料①、②を参考にしながら、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 地域における高齢者の移動手段を確保する意義について、高齢者以外の世代や関係者が享受する利益を踏まえ、あなたの考えを述べなさい。
- (2) (1)で述べた意義を踏まえ、地域における高齢者の移動手段を確保するために国として行うべき取組について、その取組を他の主体ではなく国が行う必要性に言及しつつ、あなたの考えを具体的に述べなさい。その際、その取組の効果を測定するための指標(□□の数、率など)を設定し、その指標がどうなる(増加する又は減少するなど)と取組の効果があったといえるかについて、簡潔に言及しなさい。

資料① 平日の高齢者の交通手段構成比

			交通手段構成比(%)						
			鉄道	バス	自動車 (運転)	自動車 (同乗)	自動 二輪車	自転車	徒歩
60代	三大都市圏	男性	24.3	1.5	38.2	6.1	2.4	10.8	16.7
		女性	17.7	3.2	23.1	13.9	2.0	15.7	24.4
	地方都市圏	男性	3.4	2.7	69.7	4.6	2.6	6.4	10.6
		女性	2.4	3.6	50.4	16.6	1.1	9.8	16.1
70代	三大都市圏	男性	12.3	1.7	40.4	7.4	1.4	10.1	26.7
		女性	8.7	5.7	14.3	16.5	2.0	15.5	37.2
	地方都市圏	男性	1.1	1.1	65.3	7.6	2.1	6.8	16.0
		女性	1.3	2.8	32.4	24.1	2.5	9.8	27.1

※ 「三大都市圏」は、さいたま市、千葉市、東京区部、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市及びその周辺都市である。

(国土交通省「令和3年度全国都市交通特性調査」を基に作成)

資料② 公共交通の減便・廃線等により移動手段が減少して困ること(複数回答)

(単位：%)

	買い物	通院	通勤	通学	遊び・レジャー	役場や銀行等での各種 手続	知人や友人等との交流	習い事やボランティア	困ることはない
60代	46.0	43.6	21.1	9.6	19.1	25.9	17.5	5.3	25.1
70代	48.0	45.1	6.9	5.6	19.4	26.3	24.0	8.2	28.9
80代	63.6	56.1	10.6	6.1	21.2	37.9	28.8	9.1	16.7

(令和5年版国土交通白書を基に作成)